

Sankka

讃歌
夏号

京都九条病院 Communication Book

特集

京都九条病院は、
敷地内全面禁煙と
なりました。

特集

介護・介護予防の現場から。

介護老人保健施設マムフロラ施設長 山口希

「介護、医療、研究の調和を通して
「品格」のある介護を実現したい。

京都市唐橋地域包括支援センター 課長 坪木由美

ほんのニコマの出会いのために、
みんな、いつも一生懸命です。

ミニセミナー広場

健康は毎日の食事から「医食同源」講座 第6 講目

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座 第4 講目

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ 第8 弾

私の病院自慢あれこれ 第8 回

院内散策

「新・新しい病院作りキャンペーン」
キックオフミーティング



院長 山木 垂水



薬剤部長 友沢 明德

vol.8
2007 Summer
夏号

京都九条病院は、敷地内全面禁煙となりました。

健康増進法第25条
受動喫煙の防止

学校 体育館 病院 劇場 観覧場
集会場 展示場 百貨店 事務所
官公庁施設 飲食店 その他の多数
の者が利用する施設を管理する
者は、これらを利用する者について、
受動喫煙室内又はこれに準ずる
環境において、他人のタバコの煙を
吸わされる(をきい)を防止す
るために必要な措置を講ずるよ
うに努めなければならない。

受動喫煙のない環境を

この4月から当院が敷地内全
面禁煙を実施した一番の理由は、
受動喫煙防止の徹底にあります。
受動喫煙とは、自分の意志とは関
係なく他人のタバコの煙(副流煙)
を吸ってしまうことで、有害物質
の濃度は副流煙のほうが高いとさ
れています。

実は受動喫煙を防ぐ取り組み
は、数年前から始めていました。
当時は、各階に喫煙スペースを設
ける分煙としていたのですが、最
新の換気装置をもつても煙の
流出を防ぐことはできませんでし
た。だからとして医療の場で健康
被害を受けるようなことはあつて

はなりません。そこで、非喫煙者
に配慮した環境を「を合言葉に
平成15年2月、市内の同規模
病院に先駆けて全館禁煙をスタ
ートしたのです。

ところが、それでも受動喫煙を
防ぐことはできませんでした。入
口の脇に置いた灰皿から待合室へ
煙がたびたび入り込んできたので
す。これでは全館禁煙にした意味
がありませんでした。また、平成
15年5月に、「健康増進法」が施
行され、その後各自治体で歩きタ
バコ禁止への動きが加速するなど、
公共の場所での禁煙は社会的な
課題となっていました。このような
病院の現状と社会の動向を見つめ
直した上で、「受動喫煙をもう一
度病院からなくそう」と院内の
声をひとつにし、敷地内全面禁煙
に踏み切ったのです。おかげさまで、
タバコを吸わない方からの評判は
上々。喫煙者の方からの抗議など
もいまのところありません。

「健康」をキーワードに共に

「これまでタバコを吸わない方の立
場から話を進めてきましたが、この
取り組みはもちろん喫煙者の方へ
のケアでもあるのです。そうした意
味から、私たちは喫煙者を排除す
るのではなく、「健康」をキーワード
に共に考えようというスタンスを二貫
して堅持してきました。

タバコには「コチン、タール、酸化
炭素」という3大有害物質が含まれ
ており、発癌リスクを高めるのはも
ちろん、全身の血管を障害し、肺気
腫など慢性閉塞性肺疾患の原因に
もなります。また、「コチンの依存
性も深刻です。昨年4月から禁煙
治療に保険が適用されたのも、「コ
チン依存症」を治療すべき病気と
とらえるようになったからです。か
として世間では、「嗜好品」と言わ
れているタバコを、病院が「やめる」
と強制することにはまだ抵抗があ

ります。
しかし、せめて
病院にいるあいだ
は健康にプラスにな
ることを実行していただき
たい。そして「こで過した、ひと
き」をきっかけに、禁煙をもつと前
向きに考えていただければと思っ
ています。このように喫煙者に禁煙を
意識していただく機会をもつこと
も病院が果たすべく社会的使命のひ
とつではないかと考えています。

ところで、当院の職員は、勤務時
間内禁煙となつています。タバコを
我慢している方にタバコくさい職員
が対応したら失礼ですよ。ただ、
これからはもう二歩進んで職員自
身が自らの健康と喫煙について考
えることが課題だと思えます。禁
煙によつてわたしたち自身が健康
を増進すれば、その経験を患者さ
んに還元することでより良い医療
の実現にも繋がりますからな

京都九条病院 薬剤部長
禁煙推進委員会委員長
友沢 明徳

Akinori Tomozau

京都九条病院の禁煙ポスター
皆様のご協力まことに
ありがとうございます。

京都九条病院

OUR HOSPITAL CONCEPT
京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供すること。
さらに常に最大限最高の
医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けること。

OUR HOSPITAL WORKING SPIRIT
京都九条病院で働く人の精神

常に公平、公正な
より良い医療を提供するために、
「奉仕の精神」をもち、病院に関わる
すべての人が一体となって
「人々の健康」に貢献します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- 1 患者さまは、その社会的・経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- 3 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- 4 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- 5 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- 6 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊重され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

禁煙推進キャンペーン職員研修会開催

平成19年5月29日(火)に禁煙推進キャンペーン職員研修会を開催し、京都府立医大地域保健医療疫学教室、齋田正子先生にご講演いただきました。『敷地内禁煙の魂を伝えたい』病院から日本を元気にしよう！と銘打った講演では、喫煙の害や禁煙のコツを、動画やボスター、外国タバコのパッケージなどを駆使して、楽しく(恐ろしく?)またわかりやすくお話しいただき、参加者一同、医療人としての認識を新たにすることができました。今回のキャンペーンを意味あるものにするためにも、一層啓発事業に取り組んでいきたいと思えます。



笑い声が聞こえる楽しい講演でした。



喫煙からの卒業を目指して

最後にこれは余談ですが、私はかつてかなりのヘビースモーカーでした。病的に増えていくタバコの本数に怖くなり禁煙を決意、当時発売されたばかりのニコチンパッチを使ってなんとか禁煙することができました。タバコを吸わなくなると本当に良かったと思うのですが、禁煙して約8年、もはや「禁止」されていゝのではなく、「卒業」したんだというところに最近気付きました。吸いたくないという気持ちは今でもゼロではないですが、「吸えない」のではなく、「吸わない」のです。禁煙外来での患者さんとの対話や敷地内禁煙の仕事に関わらせていただく中で、そのことを実感しています。

「禁煙」から「卒業」へ。京都九条病院と同仁会クリニックは皆さんのチャレンジを応援します。

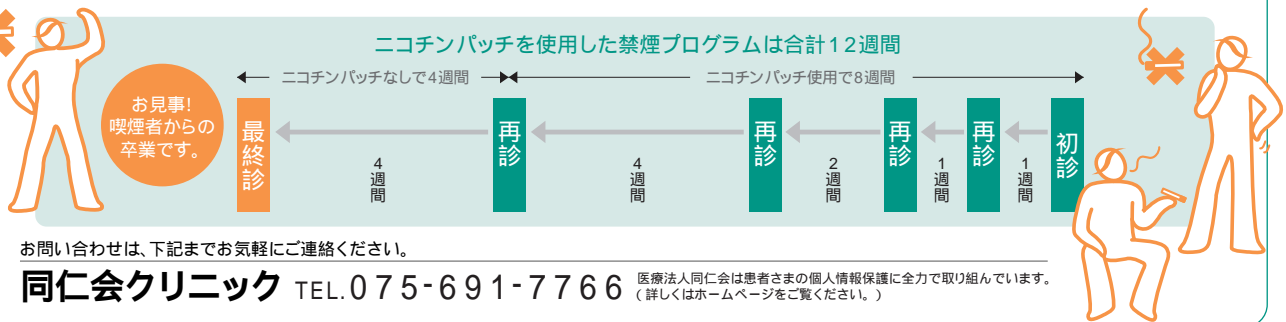
禁煙外来のご案内

タバコがやめられないのは、意思が弱いからだけではありません。ニコチン依存症のためなのです。当院禁煙外来では、カウンセリングを中心に必要に応じてニコチンパッチを使用、ニコチン依存症を治療しながら「自身の意志」によって禁煙することを可能にします。タバコがやめられずお悩みの方、ぜひ一度チャレンジしてみませんか？

当外来ではこれまでに多くの方が禁煙に成功されています。何度も挫折したという方も、プログラム終了時に「こんなに楽にやめられるとは...」とおっしゃるほどです。ヘビースモーカーの方、ぜひ一度当外来へお越しください。そしてチャレンジしてください。治療には健康保険がご利用いただけます(一部除く)。



同仁会クリニック禁煙外来看護師
三上 豊子



特集2

介護・介護予防の現場から。

「介護老人保健施設マム フローラ」 京都市唐橋地域包括支援センター

介護、医療、研究の調和を通して 「品格」のある 介護を実現したい。

この4月に、介護老人保健施設マム フローラの施設長に就任した山口希先生に、介護への熱い思いと理想をお話しいただきました。



介護老人保健施設マム フローラ施設長 山口 希

私は長年にわたり、京都九条病院で医療の現場に携わるとともに、研究者として脳神経科学の未知の分野を探索してまいりました。そしてこのたび、豊かな自然に恵まれた長岡京の地に建つ介護老人保健施設マム フローラで、新たに介護の仕事に就かせていただくこととなりました。

現在、当施設には100名近い利用者の方がいらっしゃいます。みなさん、尊敬すべき人生の先輩です。歩んでこられた道は千差万別でおひとりおひとりがとても個性的な方々です。

なかには認知症の方もいらっしゃいます。その方は短期記憶の障害が著しく、ほんの少し前の出来事を覚えていらっしゃらないこともあります。ところが華やかしい青春時代の思い出をお聞きすると、すぐに昔話を始められます。その口ぶりはたいへんお達者で、介護をしている私たちがさえもその方が認知症であることをつい忘れてしまっほざいます。

このように認知症は、昔のことや昔のやり方といった長期記憶を保持し続けるという面もあわせ持っているのです。

しかし現実問題として、認知症の方の介護はご家族にとって大きな負担となっています。肉親ゆえに、その現実がいささか辛く感じられることもあるでしょう。そういった

Nozomi Yamaguchi

負担や辛さをやわらげるために介護サービスを提供することが、私たちの仕事です。もちろん、それは言葉でいうほど易しいものではありません。なぜなら、人間対人間の介護は決して杓子定規では務まらないからです。考え方や人生経験もそれぞれ異なる人を、ひとつの型にはめてケアすることなどできません。100人がいれば100通りの方法があるのです。まさにオーダーメイドのケアをすることが大切なのです。

介護の仕事は実に奥深く、はかり知れないものですが、思うようにならないという困難から逃げたいというプロ失格です。当施設では全スタッフが利用者の方との親身な触れ合いを通して、心の底から何かを感じ、それについての思考を繰り返すなかで、おひとりおひとりに合わせた介護の提供に努めています。

同時に、私はこれまで続けてきた脳神経に関する研究をいっそう深め、その成果を認知症の治療や認知症の方の暮らしに活用していきたいと考えています。

私が理想とする介護のあり方は、「介護」と「医療」、そして、「研究」という3つの要素が融合し、美しい1+1+1を奏でるものです。そうしてはじめて、人間の尊厳を重んじることができる、「品格」のある介護が実現できると思っています。

当施設には、私の理想を満たす体制と環境がしっかりと整っています。これからも「介護老人保健施設マムフローラ」が利用者の方とご家族の拠り所として、いっそうのご信頼をいただけるよう、スタッフとともに精進してまいります。



明るく開放的な空間のリハビリテーションルーム(機能訓練室)。

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設
マム フローラ
〒617-0853
京都市長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2
TEL / 075-958-3388



ほんの一コマの 出会いのために、 みんな、いつも一生懸命です。

地域の高齢者の方の介護予防や生活支援を目的に、
昨年4月に創設された
京都市唐橋地域包括支援センターの活動をご紹介します。



京都市唐橋地域包括支援センター 課長 坪木 由美

当センターは平成18年4月の介護保険法の改正に伴い、京都市の委託事業として誕生しました。創設の目的は、高齢者の方々が住みなれた地域でその人らしい人生を送れるよう、生活の安定と心身の健康保持のための総合的なサポートを行なうことで、その役割は大きくつぎの4つに分けられます。ご本人やご家族、地域の方からの介護に関する総合相談支援、消費者被害や虐待防止といった権利擁護。

介護保険で要支援と認定された方と要支援状態になる恐れにある方への介護予防サービス計画の作成。

在宅生活を安心して維持するための行政機関、医療機関、介護サービス事業者、地域社会とのネットワークづくり。

以上の役割を社会福祉士、保健師主任介護支援専門員の3職種からなるチームで担います。

センターは小学校区単位で設けられ、当センターは南区の南大内、唐橋、祥豊、吉祥院の4学区内の約6千人の方が受け持ちとなっております。このうち、現在実際にサポートしているのは約300人の方です。通常は3職種それぞれ1名計3名のスタッフで業務にあたるのですが、当センターは担当地域内の高齢者の方が6千人以上ということから社会福祉士をもう2名

Yumi Tsuboki

配置し、兼務で介護支援専門員をプラスして、計5名でサポートに動んでいます。みんな専門性に優れたスペシャリストであり、バイタリティあふれることが当センターの自慢です。

私たちの業務には、民生委員や老人福祉委員、町内会長といった地域の人々との連携が欠かせません。サポートを必要とする高齢者の方のなかには独居や引きこもり、認知症の方が多くいらっしゃいます。そういった方々の援助には、地域の方々からの相談や情報提供がまさに命綱となるのです。また、お宅にお伺いできても、すぐに打ち解けていただけないこともあります。何度も何度も足を運んでようやくお話ができたというケースがこの1年間にたくさんありました。私達は地域の方々、サポートを必要とする方々、そのご家族との深い信頼関係を築いていくためにがんばっています。

とはいえ、まだ至らない部分もあります。そのひとつに、当センターの存在が地域の皆様にもあまり知られていないこと。そのため市民検診や地域の集まりには積極的に出向き、広報や介護予防の啓発に取り組んでいます。

お困りごとや気になることがある方、まずはお気軽にご連絡ください。そして、どんな小さな事でもご相談ください。私たちが関わる

私たちスタッフ一同みなさまからのご連絡お待ちしております。

お問い合わせは、下記までお気軽にご連絡ください。

**京都市唐橋
地域包括支援センター**

TEL.075-692-3368

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
(京都九条病院南側)

医療法人同仁会は患者さまの個人情報保護に全力で取り組んでいます。
(詳しくはホームページをご覧ください。)



明るく、バイタリティあふれるスペシャリストたち。

ことができるのはその方の人生のほんの一コマかもしれませんが、その一コマの出会いがとても重要な意味を持つと信じて、私たちは日々の業務に励み、新しい出会いを楽しみにしています。



たっぷり野菜の冷たいそうめん

材料(4人分)
1人分のエネルギー343Kcal 塩分2.1g

- そうめん(乾燥品)・・・300g
- 鶏ムネ肉(皮なし)・・・120g
- 卵・・・大1個
- きゅうり・・・1本
- にんじん・・・4cm
- ミニトマト・・・12個
- 生椎茸・・・4枚
- だし・・・500cc
- しょうゆ・・・大さじ2杯強
- みりん・・・大さじ2杯強
- 豆板醤・・・小さじ1杯弱
- あさつき・おろし生姜・・・適宜

卵は錦糸卵にし、きゅうりは千切りにする。にんじんは千切りにしてさっと茹でる。椎茸は軸をとり、焼いて薄く切る。ミニトマトは半分に切っておく。

鶏肉は酒小さじ2杯をふり、水を少し加えて蒸し煮にし、そのまま冷まして細かく砕く。

Aを煮立てて火からおろし、豆板醤を加えて冷ます。

そうめんはたっぷりのお湯で茹でてざるに上げ、流水で洗って水気を切る。

そうめんを器に盛り、Aを彩りよくのせ、あさつき、おろし生姜を添える。

「高血圧は別名『静かな殺し屋』とも呼ばれるほど初期にはほとんど自覚症状がなく、放置しておく、将来、脳の血管や心臓、腎臓等の主要な臓器に生命に係る異変が起ること

がありますが、高血圧には遺伝的な素因に加え、バランスの悪い食事や塩分の摂り過ぎ、飲酒喫煙、その他様々な生活習慣が複雑に絡み合っ

て起こる本能的な高血圧と腎臓病や内分

泌系の病気を併発して起こる二次性高血圧があります。二次性高血圧は原因となる病気が治れば血圧も下がりますが、

病気が治れば血圧も下がりますが、

病気が治れば血圧も下がりますが、

病気が治れば血圧も下がりますが、

FOOD for HEALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座

講師: 京都九条病院 管理栄養士

仁田 由美子 Yumiko Nitta



塩分をコントロールして高血圧を予防しましょう!!



ですが本能的な高血圧を治すには生活習慣の改善が必要。中でも塩分の摂り過ぎが最も大きく影響します。現在の成人1日当たりの平均食塩摂取量は13.5g、高血圧を予防するためには10g以下に抑える必要があります。塩分摂取量がなかなか減らない原因のつに、インスタント食品、加工食品、外食の占める割合が多くなっている事があげられます。麺類は汁を残す、揚げ物にはソースやしょうゆを控え、レモンを搾るなどの工夫が必要です。又見え

ない塩分にも気を付けましょう。例えは「タイ」をたっぷりめた

「ストは梅干(中)1個とほぼ同じ塩分量です。他にもチーズ類、練り製品、肉加工品、洋菓子にも塩分は含まれています。又微量ですが魚介類や肉類卵にも塩分はあります。調味料で使う塩、しょうゆ、みそ等に加え、素材となる食品すべて

の塩分量を足して総摂取量にすることを忘れてください。今回は塩分控えめの冷たいそうめんをご紹介します。豆板醤で辛みをつけ、おろし生姜で風味を補っているので薄味でもおいしく頂けます。

NURSING for HEALTH

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座

京都九条病院 看護部3F病棟 係長

中村 祐司 Yuji Nakamura

とってもつらい「腰痛」は、生活習慣改善で予防しましょう。



2本足で歩く人間にして、腰痛は宿命的な病気です。ほとんどの人が生の間に腰痛経験があり、整形外科の患者さんの中でも、最も多い病気です。急性腰痛症は一般的には、ぎっくり腰といわれ、突然の激しい痛みで襲われるため、ドイツ語で「魔女の撃」ともよばれます。腰の骨は5個の椎骨で構成されていますが、それを支えている椎間板や関節、筋肉や靭帯などに部分的な損傷が起こり、強い痛みが生じることが考えられています。加齢現象が始まる30歳以降の方や、過去に腰痛の経験がある方は特に注意が必要で、日常生活のちょっとした動作がきっかけで生じますから「用心ください」。

もし急に痛みが起った場合は、安静にすることが第一、通常は1〜2週間で治ります。腰痛の治療はあくまで対症療法であり、生活習慣を改善し、再発や悪化を予防することが大切です。仕事や身体を動かす間は腰椎間板を装着し、休日や夜間は必要以上に上げたまま、長時間が低下しさらに腰痛を起す原因になります。シャワーだけではなく、ぬるめのお湯にゆつくりつかり、筋肉の疲労を和らげるとともに、気持ちリフレッシュさせるとよいでしょう。無理のない程度で毎日腰痛体操を行う、また水泳など適度な運動を行なう。寝るときは腰に負担を少なくするように、膝の下に枕



椎間板への圧力は、寝ている時を1とすると、立ち上がりで1.3倍、あくらで2.2倍、くしゃみ時に2.4倍、前屈みて4.0倍もかかります。

FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 スポーツ整形外科部長

渡邊 信佳先生
Nobuyoshi Watanabe



バレエに夢中の小さな娘。
将来、専属のトレーナーに
なるのが
私の密かな願いです。

今回は
渡邊先生が紹介する
Next Doctor

渡邊先生

ドクターの「プライベート拝見」
数珠つなぎ

北川先生

日々成長していく娘にいつか、元気をもらってほしい。



4歳になる娘と過ごすのがとにかく楽しいですね。休みの日や早く帰ったときには、いつも近所の公園で遊んでいます。正直、日曜日の朝ぐらいはのんびりしたいという気持ちもあるのですが、「パパ起きて」とせがまされると…。こういうと親バカのように聞こえそうですが、娘の教育はしっかりやっているほうだと思います。特に挨拶や人との接し方については厳しくいっしょつけています。私の子育ては「やりたいことをやらせる」主義。最近、ピアノとバレエをやりたいというので始めさせました。まだ私の出番はありませんが、バレエについては将来メンタル&フィジカルトレーナー

として面倒を見てやろうかな、なんて思っています。

スポーツ整形外科医になったのは、大学時代にサッカーに熱中していたことがきっかけです。リーグ戦に出場したこともあります。しかし医者になってからはすっかり遠のき、今は娘とボール遊びをするのが唯一のスポーツです。実はその後飲むビールがたまらないのですが、このあいだ娘に「あんまり飲み過ぎたらアカンで」といわれてしまいました。まあ、これも娘が成長した証拠で、喜ぶべきことなのでしょう。

LOVE
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

京都九条病院のイイところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のここが好き!!

好きな言葉
favorite word
「誠心誠意」
河野 純子
リハビリテーション課 主任 理学療法士



リハビリテーション課のスタッフは総勢20名ですが、仲が良くてしかもみんな前向きです。誰かが新しいことにチャレンジするときなどはみんなで助け合い、そして、その結果をみんなの経験として大切にしています。また患者さんのサポートもスタッフ全員で行っていますから、私たちも不安を感じることなく患者さんに接することが出来るので、とても良い環境で治療を受けていただいていると思っています。これからもより一層良い環境を整えていきたいですね。

好きな言葉
favorite word
「協調性」
中光 輝代
看護部 ICU病棟 係長



患者さんにも医療をお届けるために、部署を越えてみんなの心がひとつになっていることです。手術室や検査室にいつどんなときに連絡しても、打てば響くような答えが返ってきます。だから素早い処置を行なうことができます。ICU病棟の面会時間は午前7時30分から午後9時までなのですが、私達はそれ以降でも、ご連絡をいただければ調整するようにしています。患者さんのためにはもちろんこと、そのご家族の方のためにもという気持ちを大切にしています。

好きな言葉
favorite word
「思いやり」
渡邊 香菜
事務部 医事課



以前こんなことがありました。来院予定の方がなかなか来られなかったため、看護師が直接連絡を差し上げると、その方は一人暮らしで体調が急変してしまったとのこと。そこでケースワーカーに依頼し、その方を救急車で搬入していただいたのです。幸い処置が早かったため事無きを得ることができました。私たちは受け身ではなく、常に積極的に行動する。これも地域の皆さんの健康を思いやる、京都九条病院のイイところだと思います。

好きな言葉
favorite word
「マイペース」
國仲 加世子
薬剤部



薬剤部の魅力は居心地がいいことです。とはいえ甘い訳ではありません。ときには優しく、ときには厳しいサポートで日々成長する自分が実感できる、そんな心地よさなんです。実は、薬剤部は学会発表の準備の真っ最中。毎日仕事が終わった後は資料集めやその整理に追われています。でも、いくら忙しくても決して自分のリズムを崩さない。それが私にとっていい仕事をする秘訣なんです。

『新・新しい病院作りキャンペーン』

キックオフミーティング

主催「新・新しい病院作りキャンペーン」委員会



医療法人同仁会では昭和32年の創立以来、急性期医療を担う「京都九条病院」を中心に、医療・健康・介護という分野において地域の中核病院として「Mother Heart Community」の母のような優しい心に満ちたコミュニティであること」を理想として心のもっと医療サービスの提供を実践してきました。

今回私たちはより一層その理想に近づいていくために「新・新しい病院作りキャンペーン」をスタートさせました。

平成19年5月9日水、医療法人同仁会全職員を対象に行なったこのミーティングには250名を超える職員が参加しました。

主催委員の西海事務部長の趣旨説明で幕を開けたミーティ

ングは、続いて松井理事長より「Mother Heart Community」を目指して（これまでの10年そしてこれからの10年）の講演。委員会メンバーの紹介を経てグループごとのテーブルディスカッションに進みました。

テーブルディスカッションでは、「IT化への取り組み」、「部署間・施設間のさらなる連携」、「地域の方々への今まで以上の情報発信」などをはじめ様々な問題を話し合い、これから進もうとする先への意識の統一を図ることが出来ました。

ミーティングは山木院長からここまで内容のある会であったことをつれしく、また誇らしく感じました。「みなさん素晴らしいコミュニティを二層築いていきますよ」とのお言葉を頂き終了した

しましたが今回は、キックオフミーティング「始まりはまさにこれからなのです。」

『新・新しい病院作りキャンペーン』の実施には、もちろん私たち委員会の想いがあります。それは職員全員で問題点を考え、確認し、職員全員が当事者として行動すること。これは今まででも行ってきたことですが、今回をこれまでの区切りとし、新たな気持ちで職員みんなが共により素晴らしいコミュニティ作りに取り組んでいきます。そのために私たち委員会には、これから二年間を掛けて様々なスキルアップトレーニングや業務改善のプロジェクトを企画・推進していきます。

「よりやりがいがあり、より誇りの持てる病院」また、「今まで以上に患者さんの「下」に心え、地域の方々に愛される病院」にするために、私たち全ての職員は積極的に取り組んでまいります。みなさま、どうぞ期待ください。



医療法人同仁会(社団)
京都九条病院
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
 TEL 075-691-7121・FAX 075-691-5311 www.kujohp.com/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マム フローラ
 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2
 TEL 075-958-3388・FAX 075-951-5300 www.dojinkai.com/mam_f/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マム クオーレ
 〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3
 TEL 075-691-7755・FAX 075-691-7765 www.dojinkai.com/mam_c/

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
 〒601-8454 京都市南区唐橋経田町16
 TEL 075-661-3820・FAX 075-661-3835 www.dojinkai.com/mam_s/

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
 TEL 075-692-3368・FAX 075-692-3348 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
 TEL 075-691-7200・FAX 075-691-7116 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
 TEL 075-691-7766・FAX 075-693-6175 www.do-clinic.com/

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
 TEL 075-691-5070・FAX 075-693-6175 www.do-clinic.com/yobo/

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
 TEL 0120-558-756・FAX 075-672-1414 www.e-shinshin.com/